昭和30年12月5日 第3種郵便物認可 （日曜・祝日の翌日休刊） 社団法人日本地方新聞協会加盟 （日刊）

第18169号

岳陽新聞

3月1日 水曜日
2017年（平成29年）

発行所 岳陽新聞社
〒418-0002 富士宮市中原町7番地
☎（0544）24-9050 FAX（0544）24-9007
購読料1か月630円 1部売り 50円

プロパンガス・住宅設備・太陽光発電システム
高圧ガス・防災機器・環境機器
オブリック株式会社
OBRICK
富士宮市田中町543番地
TEL.0544-24-2211
FAX.0544-23-0248 http://www.obrick.co.jp

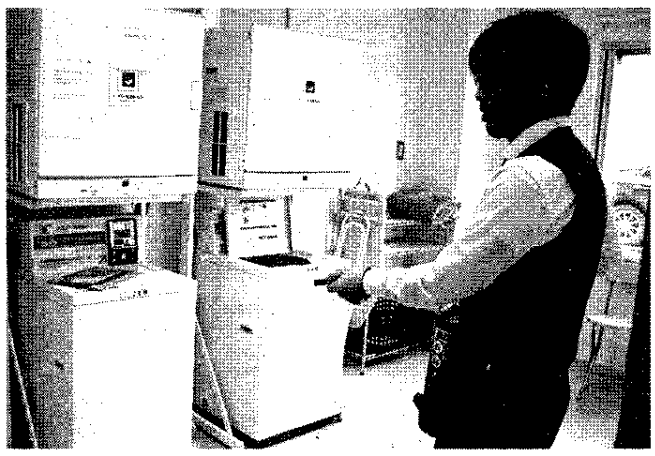
常葉大学主催

「高校生ビジネスプランコンテスト」で準グランプリ獲得

富士宮高校会議所

高校生の斬新なアイデアをビジネスの具体的なプランにして地域社会の貢献に役だてるビジネスプランを競う「第5回高校生ビジネスプランコンテスト」（常葉大学主催）がこのほど開催され、富士宮市内の5高校の生徒たちでつくる「富士宮高校会議所」が準グランプリ（遠州信用金庫賞）を獲得した。

コンテストで「富士宮高校会議所」は地域貢献ビジネスとして「富士宮の活性化」を目的に提言やイベント創出に取り組んできた成果を披露した。同コンテストには県下の各高校の生徒たちが地域社会貢献に取り組んできた成果などを発表してプランを競った。


重要な初期消火訓練

平成29年春季全国火災予防運動 本日から7日間

「スーパーホテル富士宮」で消防長特別査察

各部屋の熱感知器作動を受信

富士宮市消防本部（望月正三消防長）は2月28日、ひばりが丘の「スーパーホテル富士宮」で消防長特別査察を行なった。

査察は本日から7日まで全国で実施される「平成29年春季全国火災予防運動」に先駆けて行なわれたもので、観光客が増加する春先に火災予防と訓練が展開された。

RC造4階建延べ面積2083・42㎡の同ホテルは、収容人員266人で高い稼働率だとし、訓練では観光シーズン前に消火器や誘導灯、自動火災報知設備や非常放送設備、消防機関へ通報する火災報知設備、各部屋や廊下の熱煙等の感知器の正常作動の確認、避難経路の安全確保が行なわれた。

最近、糸魚川大火災や㈱アスクルでの大火災など全国で火災発生が多発、今年に入ってから市内でも一般家庭中心に火災が多発傾向で、消防本部は市民に火災予防を呼びかけている。

同日、同ホテルで実施の訓練では、ランドリー室からの出火を想定、佐野弘消防次長兼予防課長はじめ予防課員3人が1階部分の各部屋の火災報知機等の正常作動の確認を行なった。

続いて望月消防長が査察点検を行い、1階では各部屋の熱感知器作動受信機の設備を査察、最上階から順に歩いて見て回った。

点検では、緊急通路や非常階段に設置された非常灯および誘導灯の正常作動が確認され、部屋内の熱感知器の説明を行なった。熱感知器は、高温を察知するとどの部屋が高温となっているのかを1階受信機に伝える役目を果たす。廊下では温度よりも煙の方を早く察知できるとのことで煙感知器を設置、各場所によって効果ある機器を設置している。

また同ホテルでは、カーペットやカーテンには「防炎」と書かれたタグが付いているものを使用し、利用客への安心安全を最大限に配慮した設備を提供していると、望月消防長は「これなら万全の態勢です」と笑顔を見せた。

防炎製品も点検

最後に望月消防長は「新しい設備で、管理はかなり良好です。今後も十分に気をつけていただけたら」と講評を行なった。

関係者は「現在空気の乾燥もあり、全国的にも市内でも火災が多く発生しています」と話し、「火事はヒューマンエラーが多いので、火気に注意していただきたいです。火事が起こってしまったら、まずは初期消火の徹底を心がけてほしいです。そしてすぐに通報し、消防車輌が早く来るように迅速な対応をしてください」と話し、火災予防への心がけと、火災が起こってしまった場合の初期対応の重要性を語った。

消防本部は2日にも、富士宮東幼稚園幼年消防クラブとともに市役所入り口で、火災予防広報を展開し、4日にはイオンモール富士宮で「富士宮市防火安全協会主催の消防フェア2017」を開催、広く市民への火災予防啓発を行なうとしている。

4日早朝はさらに、昨年12月発生の新潟県糸魚川市で発生の大規模火災を教訓に、宮町商店街で「平成28年度消防本部および消防団大規模火災対応訓練」を実施する予定だとしている。

【訂正とお詫び】

本紙25日付け1面「㈱ミダック 工場見学」記事内に、訂正がありました。

正しくは「資本金2億7364万円・従業員数192人（平成28年3月末現在）」「感染性産業廃棄物」となります。

お詫びと訂正を致します。

岳陽新聞社

あしおろし

『きょうから3月』

◆きょうから3月です。

「弥生」3月、明るい希望に満ちた語感の言葉に、自然を賛美する声が聞こえてきそうです。3月は旅立ちの月、学窓を巣立つ若者が希望に胸ふくらませた笑顔を見せる月です。きょう1日には、富士宮地区の各高校で卒業式が行われ、未来に夢を抱く若者たちが卒業証書を手にします。

3月の異称には「夢見月」もあります。トランプショックで経済の先行き不安、社会構造の変化など厳しい環境の中で無力感が漂い、若者が夢を描くことが難しい時代とも言われます。それだけに、卒業生たちの夢は大きなものであることを願いたいものです。

◆弥生は旧暦3月の異称です。

『枕草子』に「やよひ三日はうらうらとのどかに照りたる…」とあり、古来から草木がいよいよ生い茂る月を表わす「木草弥生（きくさいやお）い茂る月」が詰まってヤヨイとなったとする説があり、「いやおいの約転、水に浸したる稲の実のいよいよ生ひ延ぶる意」とする説もあります。

3月の異称には、弥生のほかに春別月、仲春、花見月、花惜月、花飛月、早花咲月、夢見月、桜月、春秒などがあります。用語には、風光る、春雷、水温、若鮎、木の芽晴れ、春疾風、初蝶、雁帰る、春泥、雛飾る……などがあります。

◆春を表す季語に「野火」があります。春先に野山の草を焼く「野火」は、作物の害虫の駆除になり、草木の灰が天然のアルカリ肥料となって作物の成長を促す。枯草を焼き尽くすことで山火事防止にもなります。

「野火」を季語とする俳句は数多くあり、与謝蕪村は「野と共に焼く地蔵野楢（しきみ）かな」と詠み、高浜虚子は「野を焼いて帰れば燈下派はやさし」、小林一茶は「山焼の明りに下る夜舟かな」と詠んでいます。

草を焼く作業は、縄文時代に大陸から伝わった焼畑の名残ともいわれます。森林などを焼いて畑を作り、耕したり肥料を施したりしないで、雑穀などを栽培する焼畑農法は、現在も熱帯サバンナや森林で盛んに行われ、世界中で毎年、膨大な面積の森林や原野が焼失しています。

飯田蛇笏の句に「古き世の火色ぞ動く焼野かな」とあります。

野焼きした後の野を表わした季語に「焼野」もあります。真っ黒になって残っている草木を未黒と言います。野を焼くのは萌芽を促すために行うもので、焼野の下には次の生命が育ち、時をおかずに萌えあがります。「焼け跡」とは異なる期待をはらんだ季語とも言われます。与謝蕪村は、焼いた火照りがまだ残る野が明け方の小雨で鎮められていく様子を「しののめに小雨降出す焼野哉」と詠んでいます。

「冬退けようとする春と、春を阻む冬とのせめぎ合いの下で、大地の春は目覚める」と春の始めを画家の堀文子さんは詩画集『命といふもの』に著している。

卒業証書を手に笑顔を重ね学舎を巣立つ高校生たちの晴れやかな風景と共に春は訪れるます。

ひと足早く咲いた河津桜が花を落として樹木の下をピンクの色に散り染めるなか、春を告げる草花が大地から芽を伸ばし花開き始めてもいます。様々な樹木の目が燃え出す「木の芽時」、3月は巣立ちと共に芽吹き育ちの成長の時候です。きょう学舎を巣立つ若者たちが夢を描くことができる社会・地域であってほしいものです。

広告は岳陽新聞へ

㈶富士心身リハビリテーション研究所
理事長 病院長 髙橋 伸忠
精神科・心療内科・内科
富士リハビリ病院
介護老人保健施設
富士ケアセンター
〒418-0035 富士宮市星山一一二九
☎（〇五四四）二六-八一〇一（代）

水曜日は大野水産魚センター特売日です
富士宮市淀平町181
電話26-2474

Working Station Men's&Ladie's
無敵POWERS パワーズ
頭のてっぺんから足のつま先まで作業用品なら何でも揃える専門店。お客様の様々な業種に対応します。
軍手、作業手袋、作業靴下、合羽、前掛、長靴、安全靴、安全保護具、続き服、作業服、各種ユニフォーム

開店5年記念セール
3/1(水)~5(日)まで 5日間
開店5年記念プレゼント
2000円以上お買い上げのお客様にスコッティフラワーボックス(3P)1個プレゼント
定番商品
店頭売価の10%割引
入替商品
該当品は商品に割引シール添付して表示
店頭売価の20%~最大50%の半額売尽しセール
ワゴン陳列特価商品売尽くしセール
該当品は商品に割引シール添付して表示
是非この機会を逃さずお買得商品をお求め下さい！

富士宮高校 赤かっぱ トヨタカローラ 鈴木産業本社 百草 巧道 鈴木産業物流センター 無敵パワーズ本店 P16台完備 源道寺駅
working station
無敵パワーズ本店
富士宮市前田町143-1
☎0544-66-8852
FAX.0544-25-6680
営業時間
月~金 7:00~19:00
土・日 9:00~18:00
年中無休